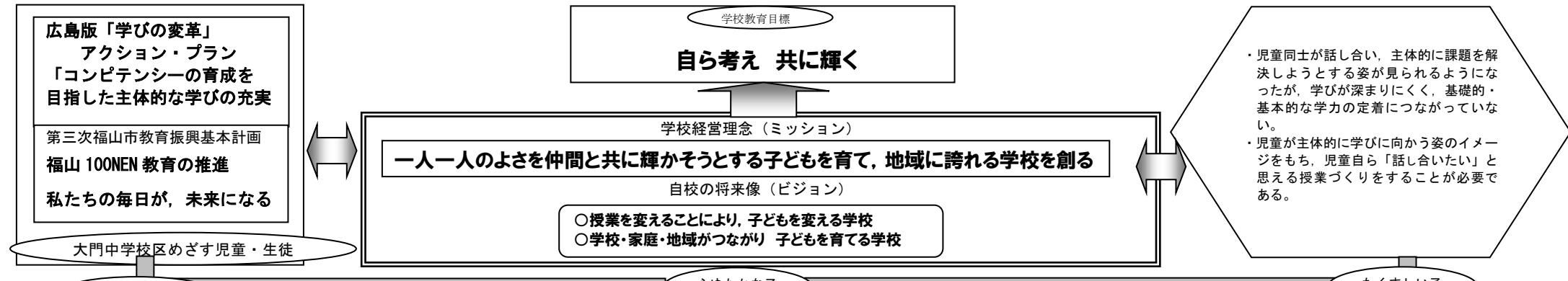


# 2022年度（令和4年度）福山市立旭丘小学校教育構想図

児童の実態



## (校区研究主題) 主体的に学び、思考力・判断力・表現力を高める授業づくり ～「課題発見・解決する学習過程」を工夫し、他者と協働しながら表現力を高める指導の工夫～

### (本校のめざす子ども像) 21世紀型 ‘スキル&倫理観’

- ・疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして、新たな課題を見つけている。(課題発見・解決力)
- ・生活体験や既習事項から適切な理由や根拠をもとに、自分の考えをもち、目的や意図に応じて、論理的に説明したり、適切な方法を選択したりして表現している。(思考力・判断力・表現力)
- ・集団の中で相手や場の状況に応じて、自分でより高い目標をもち、自分から行動している。(主体性・積極性)
- ・相手を思いやることの大切さに気付き、相手の立場を尊重し、行動している。(共感力)

### (めざす授業の姿)

- ・児童が「学びが楽しい」と思える授業
- ・課題解決に向けてあらゆる手段を活用し、みんなで考えを深める授業

### 〈研究の仮説〉

- ・児童が自ら考え、他者と協働して課題発見・解決・表現する力を育む指導過程を工夫すれば、児童が主体的に活動し、学びに新たな価値を見いだし、自分の思いを表現する力が育つであろう。

### 音楽

- ・一人一人の児童が自己課題をもち、課題発見解決する題材構成の工夫
- ・児童の思考を深める教材・教具・ワークシートの工夫
- ・音楽表現をみがき合う場の工夫  
→目的を明確にしたペア学習やグループ学習の設定  
→フラッシュカード等の活用による共通事項の習得
- ・言語活動の充実  
→音楽を根拠に、共通事項を使って自分の思いや意図・価値などを言葉で表す
- ・旭活タイム等を利用しての音楽活動

### 道徳

- ・児童が主体的に話し合い、練り合う中で、新たな道徳的価値を見出すことのできる授業展開の工夫
- ・道徳性の発達段階をもって児童が物事を多面的・多角的に考え、児童の道徳的思考を深める授業づくり
- ・道徳研究部会を中心とした学びづくり案の検討を通じた、研修体制の充実を図る。
- ・教材研究シートを活用し、ねらいや発問等が一本筋の通った授業になるようにする。

### 算数

- 【導入】・児童自らが学びたいと思える導入の工夫
- ・児童が自力解決していくことのできる課題の設定
- 【展開】・児童の学びをシンカさせる発問の精選  
・目的や場面に合った自分の考え方の交流形態の工夫  
ペア・グループ・フリー・全體
- ・児童同士が説明をつなげながら練り合える話し方、指導者のファシリテート
- 【まとめ】・適用題による学習の定着  
・児童の振り返りによる学習の見取り
- ◎児童自らが学ぼうとする授業展開の工夫や、話し合いの場のどちらなど、教材研究に丁寧に取り組み、授業の工夫を交流することで、さらなる授業改善を図る。

発問に対する児童の反応と、振り返りで記述した内容を学期に1回以上 Google Classroom 内にて発信